

山形市野草園おすすめお散歩コース 20251007 現在

花やアサギマダラと共に、木の実もお楽しみください。

軽くお楽しみいただけるおすすめ散策のコースを設定しています。

秋の七草（アサギマダラ）コース

(所要時間40分)

ゆったり一周コース

(所要時間70分)



橋老朽化のため通行止め う回路を作りました

「吉林の庭」の
フォトスポット
スイレンとコイ



タムラソウ



「スワンヒルの庭」
キバナコスモス、センニチコウ
ガウラ、コスモス など



オミナエシ



現在地が
わかる↓



フジバカマ
アサギマダラが見られるかも…

キキョウ



ワレモコウ



ヒガンバナ



ホトトギス



タマブキ



カンボクの実



ウゼントリカブト



サラシナショウマ



シヨウロウホトトギス



ダイヤモンドソウ



エゾリンドウ



リンドウ



アキノキンリュウソウ



□ スマホ・パソコンなどをお使いの方へ

野草園を楽しんでいただくために、インターネット利用した、3つのサービス行っています。ぜひ、下記のQRコードを読み込み、野草園内の散策をお楽しみください。(注：スマホを見ながらの歩行は危険ですのでおやめください。)

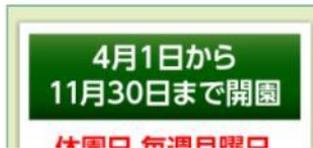
① 野草園のホームページにアクセスして、最新情報をご覧ください。(最新の開花情報、これからのイベント情報などが見られます。)

② 野草園マップにアクセスして現在地を確認できます。(園内で道に迷ったとき、おすすめ散歩コースを確認するときなどにお使いください。)

③ 野草園植物検索システムにアクセスして、植物についての知識を増やしましょう。(この植物、もっと詳しく知りたい。花の色や、実の形はと思ったときにお使いください。また、植物ラベルにQRコードが付いている場合は直接読み込むこともできます。)



④ インスタグラムも充実しています。最新の開花情報、これからのイベント情報などが見られます。



ここをクリックすると、植物検索システムの中に入れます。

昨年から、学名入り看板を作成しています。植物名の緑色の背景は「草本」、青色は「木本」、赤色は「有毒植物」になっています。「サクラ属&ウワミズザクラ属」はピンクの背景になっています。黒プレートは「木本」、白プレートは「草本」です。

ミスバショウ (サトイモ科)
学名 *Lysichiton camtschatcensis* (L. Schott) (Araceae)

シベリア東部、サハリン、千島列島、カムチャツカ半島と日本の北海道と中部地方以北の本州の日本海側に分布する。南限の兵庫県淡路市の加茂坂峠にも隔離分布している。約1方角を生ずる野草園のシロヤナギ、ハシロウとは葉の長さ1~1.5m、幅50cm程の大きな葉を上げる植物で、ハシロウの仲間である。ミスバショウの葉は花後約80cmにもなるのでハシロウと名が近い。花弁に見える白い部分は、仏炎苞(ぶつせんぼう)と呼ばれる葉が変化したもの。和名「水芭蕉(ミスバショウ)」は、ハシロウの葉に似て、水辺に咲くため。

開花前 花期 4月~5月上旬 花後の葉 冬芽

ザゼンソウ (サトイモ科)
学名 *Symlocarpus renifolius* Schott ex Tzevelev (Araceae)

北アメリカ東部および北東アジア(北東シベリア、中国東部および日本)に分布する。徳島県高島町(旧・高島郡津島町)が日本の南限。中部以北の山地や林下に生える多年草で群生する。葉の形は花のよほど広いのは、葉の基部の葉柄の節が膨らんで、約100個の小葉(副葉)がある。自ら発熱し、25℃まで上昇し、香気発散の働きが、土中の水分の多い「埋土層」を加熱している。熱が根中の水を蒸発させるために集まる。ハシロウより、一足早く、咲き出す。和名「除神草(ザゼンソウ)」は、花の色が花を掃くように見えるため。また、花を凍らせ大根の葉に食されて、オムツの「臭い」も消える。

開花前 花期 3月~4月 花後の葉 冬芽

シロヤナギ (ヤナギ科)
学名 *Salix dolichostylia* Seemen subsp. *dolichostylia* (Salicaceae)

北海道、本州の東北地方および北陸地方、関東地方北部に分布する。海外ではヨーロッパ、アジア、北アメリカに広く分布している。特に川沿いや湿地など、水分の多い場所によく見られる高さ20~30mになる落葉常緑木。雌雄異株。若い木の樹皮は滑らかで緑色で、成長になると灰色で深い縦裂の割れ目が入る。葉は革質で、長さ5~10cmの長楕円状卵形から長楕円状で先は尖り、縁には波状の鋸歯がある。裏面は濃緑色。葉裏は粉白色鱗は剥がれ、葉が乾くと、裏面は緑色で斑紋が現れる。花は白く、葉の裏面に着く。花は雌雄異株で、雄花は花柄が直立し、雌花は花柄が下垂する。雄花は花柄が直立し、雌花は花柄が下垂する。和名「白柳(シロヤナギ)」は、葉の裏面が白く輝く様子から、この名前が付けられた。

花期 4月

ヤマブキソウ (ケシ科)
学名 *Hylomecon japonica* (Tunoda, Prantl et Kuntze) (Papaveraceae)

本州、四国、九州に分布する。国外では中国に分布する。山野の下に生える多年草。茎葉は黄色い汁を含む。葉は革質で厚みがあり、長さ30~40cm。ヤマブキ草が花の太さに対し、茎は花の長さの半、根出葉は多数羽状複葉で長い葉柄がある。花は花柄は直立し、葉は切れ込みと細かい鋸歯がある。香、葉裏に鮮やかな黄色い花を1~2cm開ける。葉色の葉片は2層あり、花の裏面に落ちる。雄しべは多数。雄しべは1本。雌蕊は直立し、長さ5cm程。葉の裏面に細かい鋸歯の裂け目がある。和名「山吹草(ヤマブキソウ)」は、別名「クサヤブキ」とも書かれているように、花がヤマブキ草に似ていることが名前の由来。

花期 5月上旬~中旬